

■小和田小学校区青少年健全育成推進協議会■

○団体長名：齋藤 里子

「推進協」ってなんの略称かご存知ですか？

正式名称は青少年健全育成推進協議会といい、地域の子どもたちの健やかな成長を願い活動する団体です。

茅ヶ崎市内の19の小校区ごとに構成され、小和田小学校区は昭和56年に設立されました。

学区内に居住する皆さまと関係団体の代表者が会員です。

年に4回開催される学区委員会では小中学校の先生方や自治会、民生委員や保護者会など地域青少年の関連団体代表が一堂に会し情報交換を行います。

また、地域パトロールや小学生とのおもちゃ作り、中学生との創作講座などを通じて希薄になりがちな関わりやつながりを意識して活動しています。

しかし、残念ながらここ2年ほどは新型コロナの影響で多くの活動が制約や中止を余儀なくされています。

当地区は地域の方々の登下校時の見守りも多く、子どもたちの健全な成長を気にかけてくださっている方がたくさんいる学区です。

皆さまの温かい気持ちをつなぎ、よりいっそう思いやりのある地域づくりをすることが青少年の健全育成につながると考え、推進協も微力ながら活動を続けています。

各々ができる範囲での取り組みを目指し、役員を募集しています。ご興味のある方、ご連絡をお願いします。

■松林学区青少年育成推進協議会■

○団体長名：渡辺 富美子（小和田地区）

目的と活動

- ・青少年の育成と団体活動の推進
- ・青少年を取り巻く環境整備
- ・学校及び青少年機関との連絡提携など、必要な活動を行う。
- ・各団体、及び個人をもって組織する。

自治会（菱沼自治会2650戸、新宿自治会（845戸、中赤自治会460戸が対象となる）児童数918人、小中学校代表、小中PTA代表、校外委員、子ども会、民生委員・児童委員、青少年指導員、保護司、スポーツ推進委員、婦人会、老人会、地域代表など、構成員59名が毎月役員会の中で話し合い事業を進めています。

永い歴史をもつ、松林小学校は東西南北と連なる道は狭く、また車の交通も多く、朝の通学路においては自治会、PTA、推進協役員が旗振りし、子どもの安全・安心のために登校を見守っています。

また、松林あいさつデー（毎月第一火曜日）には子どもに“いってらっしゃい”のあいさつデーとしています。

更には、学校授業の一環として米作り教室の推進、子ども大会、夏休みのラジオ体操など事業を進めています。コロナ禍で本年度は中止となった事業もありますが、今後も続けて子どもたちとのかかわりをいっそう高めたいと考えてます。

この4月より小和田まちぢから協議会のホームページが新しくなりました。

<https://chigasaki-machiren.org/kowada/>

スマホ視聴での利便性が向上しました。ぜひご覧ください



「たのしいおもちゃづくり」での「縄ない」の様子



「作って遊ぼう」での様子



松林小・稲刈り授業での注意説明

編集後記



東小和田公園北東の入口そばに、立派な石組みが復活しました。お手入れいただいている方々の労作です。湘南の枯山水をお楽しみください。（T. K記）